

「日

本人はモノをよく分かっているので品質、機能、価格のバランスが大事です」

そう語るのは、BOYA帆谷社の李育津社長である。同社は3月、レーザー距離計『R・ONE』（1万3800円）を発売。ゴルフ業界に本格参入した。

親会社は中国のNORM社で、主力商品はレーザー製品全般だ。長さや面積などを測れる家庭用や、狩猟用のレーザー距離計は欧米でそれぞれ100万台、20万台の販売実績がある。8000㎡の中国本社には自社工場と研究開発施設をもち、品質にもこだわっているという。

BOYA帆谷社は日本法人の役割を担い、2021年に李社長が設立。親会社の得意分野を活かした、DIY需要のレーザー墨出し器や中古車販売店向けの塗装膜厚計がアマゾン、楽天、ヤフーなどのECを中心に販売好調。社名のBOYAには『子供』『坊や』のように、好奇心や即行動の意味を込める。

「ゴルフのレーザー距離計市場を見ると、日本メーカーはニコンくらいで、シェアの大半は海外メーカー。可能性を感じたのです」

計を数機種発売。一定の成果を確認し、満を持して冒頭の『R・ONE』を上市した。

「約800万円を投じて専用の金型を作りました。特に表面の凹凸は滑り止めとしてこだわりました。PSE認定やPL保険加入も済んでおり、品質も問題ありません」

ほかにも赤色LCD表示、防塵・防滴、USBタイプC充電、バイブレーションなど、1万5000円を切る価格ながら一定の機能をもつ。

「3月の発売から2週間で300台



2週間で300台販売の距離計 3機種でレーザー市場を攻める

07

「日本市場のレビューは開発の参考になります」と語るBOYA帆谷社の李育津社長

販売しました。今後はスライド式高低差切り替え機能と直線モードランプ搭載の『R・TWO』（1万7800円予定）、赤色OLED表示対応でアルミ素材の最上位機種『R・THREE』（2万5000円予定）などの追加モデルも発売し、3つの価格帯で攻めます。販路はECだけではなく、問屋経由で実店舗での販売も計画中。今期は年商1億円を目指します」

レーザー距離計市場は成熟気味だが、新規参入の「坊や」がやんちゃしてくれるか、興味津々。（大矢）



クラブ振動数計 V-3

クラブを振った時の感覚やフィーリングを数値で示す

スウィングバランサーD

トータルウェイトも測れる小型軽量の高性能モデル



スウィングバランサーL

電気を使わないシンプル設計の最高級モデル

スウィングバランサーII

手軽にバランス測定ができる個人用モデル



株式会社 三光精衡所
<https://www.sanko-s.jp/>

〒125-0042 東京都葛飾区金町2-1-1
TEL (03) 3607-2328 FAX (03) 3607-2348